

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」新潟西校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		法令を遵守したスペースを確保しています。	
	②	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		法令で必要とされる指導員又は保育士を2名以上配置（常勤）しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>			玄関の扉が重くガラス張りであり、ケガ・事故に繋がる可能性が高い為、常時開放状況で固定しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		毎日の清掃、1時間ごとの換気、支援スペースの消毒	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している		<input type="radio"/>		朝礼・終礼以外にもミーティングの機会を設け、日々の業務について話し合いを行います。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		アンケート調査を行い、業務改善に繋げています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		当社HPで公開	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		今後必要に応じて実施の検討をします。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		発達支援研究所主催の研修を主とし、地域開催の研修に参加しています。	
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		支援後のフィードバックを通して、情報収集を行い、全体で共有しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		統一したアセスメントシートを使用しています。	

の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		アセスメントを基に優先順位を考え、具体的な支援内容を検討し、個別支援計画書を作成しています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別支援計画の内容に沿った支援を職員間で共有し行っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている		○	必要に応じて児童発達支援管理責任者を中心に全員で検討しています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		活動が固定化しないように情報共有しています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		不定期の小集団イベントを通して、個別支援の内容の変化を考え作成しています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○		朝礼・終礼以外にも打合せの時間を設けます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		朝礼・終礼以外にも打合せの時間を設けます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援記録を作成し、次回以降の支援内容の検証・改善としています。	
関係機関や保護者との連携	⑳	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		保護者様や相談員と相談して判断している。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参加できない場合には、情報共有した上で指導員が参加します。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		今後情報共有できる機会を増やしてまいります。
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				該当児童なし。 今後利用がある場合には連携体制を作ってまいります。
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				該当児童なし。 今後利用がある場合には連携体制を作ってまいります。

	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて支援情報提供書を作成しています。	
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて支援情報提供書を作成しています。	
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	支援の質向上の為に、外部研修にも積極的に参加。	
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		集団の場や顔見知りでないお子さまとの交流が難しい。今後機会があれば検討してまいります。
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		支援後のフィードバック、必要に応じて事業所内相談支援も行っています。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		○	支援後のフィードバック、必要に応じて事業所内相談支援も行っています。	外部研修等で得た知識とともに、お子さまの関わりについて一緒に考えてまいります。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約の際に分かりやすいように事例を挙げながら説明しています。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		個別支援計画については保護者様へ丁寧に説明した上で同意をいただいております。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		支援後のフィードバック時に相談対応をしています。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		今後機会があれば検討および実施してまいります。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		いただいたご意見に対しては、社内フローを定め、迅速かつ適切に対応しています。	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		教室内に活動内容やイベントのご案内等を掲示しています。	
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報が記載された書類は鍵付き倉庫に保管。イベント時に写真	

				撮影する場合には保護者様の許可をいただいた上で顔を隠す等の処理をしています。		
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚的にも見えるように掲載等し、合理的配慮の点についても尽力しています。	
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	今後地域に対して『開かれた教室』となるように、イベント内容等を検討してまいります。	
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルを策定し、研修を実施しています。	
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月1回の避難訓練を実施しています。	
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		面談時に確認を行い、職員全員で共有しています。	
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	きりりでは食事提供無し。食物アレルギー以外（鼻炎など）については共有しております。	
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例が起きた際には報告書を作成し保管しています。	事象の大小にかかわらず、必ず職員間で今後も共有してまいります。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		マニュアルを策定し、研修を実施しています。	
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		マニュアルを策定し、研修を実施しています。また、お子さまによって該当となる場合には保護者様へ説明および同意をいただく旨を契約時にもお伝えしています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」新潟西校

保護者等数（児童数）：6名 回収数：4名 割合：66%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	3	1			職員の入れ替わりがあった時に少し不安を感じた。	お子さまが安心して過ごせるように継続した支援などをしております。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4					バリアフリー化は難しいが、お子さまの年齢や身体状況、特性に合わせて対応しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4					都度アルコール消毒、換気を行い、安心して過ごせる環境作りを行っています。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	4					保護者様のニーズとお子さまの成長段階、現在の様子を踏まえて作成しています。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4					ガイドラインに沿って、各お子さまに必要と考える支援内容を設定しております。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4					個別支援計画書に沿った形の支援を提供しています。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4					お子さまが飽きないように支援内容を都度変えています。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1		1	2	交流は難しいのではないかと思います。	ご希望がある場合には、検討および対応してまいります。
保護者への説明	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4					無償化有無にかかわらず、説明をさせていただいております。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	4					保護者様へのフィードバックのお時間をいただき、支援内容について説明させていただいております。

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3	1				
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4					保護者様へのフィードバックの際に支援内容のお話だけでなく、幼稚園や自宅の様子について聞かせていただいています。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4					事業所内相談支援をしております。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1		1	2	保護者会があるとうれしい。	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4					ご相談をいただいた際には、迅速に対応させていただき、職員間で共有させていただいております。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4					視覚的にも分かりやすいように文字に書き起こして対応することもあります。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3			1		不定期に行っている小集団イベントの様子は、玄関に写真を掲示しています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	4					
非 常 時 等 の 対 応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4					
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3			1		毎月、火災・水害などを想定した避難訓練を行っています。
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	4					
	㉓	事業所の支援に満足しているか	4					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。